

令和3年度 第2回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

次 第

日 時: 令和3年8月25日(水)

午後2時～

場 所: 教育プラザ研修棟 3階大会議室

※オンライン会議と同時開催

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 令和3年度事業訪問について

資料No.1、2、3、4

(2) その他

・「令和4年度 社会教育の方針」作成について

資料No.5

・今後の会議等の日程について

資料No.6

4 閉 会

上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員名簿

(五十音順)

	氏 名	備考
1	秋 山 玉 江	
2	池 田 洋 子	
3	石 田 浩 久	
4	茨 木 真	
5	江 村 奈緒美	
6	勝 俣 将 明	
7	小 林 榮	
8	小 林 英 子	
9	流 石 光 信	
10	佐 藤 ゆかり	
11	鈴 木 重 行	
12	高 橋 京 子	
13	土 屋 郁 夫	
14	保 坂 和 彦	
15	松 井 和 代	
16	百 沢 ちかい	
17	森 田 浩	
18	柳 澤 嘉 孝	
19	山 川 美 香	
20	渡 邊 恵 美	

任期：令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

令和3年度 社会教育委員による事業訪問について

1 実施目的

社会教育課で実施する社会教育事業について、社会教育委員・公民館運営審議会委員から訪問してもらい、事業に対する意見や提案を寄せていただく。寄せられた意見等を今後の事業計画や運営に反映させるなどして、より充実した社会教育事業の展開を図る。

2 対象事業

令和3年度「ふるさと未来づくり事業」(資料No.2)のとおり)

※令和3年度から実施する新規事業であり、各地区公民館において企画実施するもの。初年度となる今年度は、合併前上越市の15地区公民館の講座を事業訪問の対象事業とする。

※当事業では、地域で活動する団体等と連携して講座を企画していくため、現時点で日程・内容等詳細が検討中の地区もある。随時、資料の内容を更新し委員へ送付予定。

3 スケジュール

8月 : 委員へ事業訪問実施を依頼

9～11月 : 事業訪問を実施

12月 : 集約した事業訪問結果をもとに、委員としての意見・提案等を協議し市へ報告

2月 : 委員からの意見・提案等への市の検討結果・次年度以降の改善案等の報告

4 事業訪問の流れ

資料No.3)のとおり

5 その他

- ・各委員の都合により無理のない範囲での訪問で構いませんが、委員1人当たり概ね2回程度の事業訪問をご検討ください。
- ・連続講座の場合、全ての回の訪問、あるいは都合のいい回のみでの訪問のいずれでも構いません。なお、連続講座であることを考慮して講座の様子をご覧ください。
- ・特定の講座に委員が集中することを避けるため、必要に応じて訪問事業の変更を依頼させていただきますことがありますのでご承知おきください。
- ・事業訪問にかかる交通費(委員の自宅～事業訪問場所)は別途支給します。(22円/km)
- ・事業の内容によっては、昼食代等の実費を負担していただく場合があります。

●令和3年度「ふるさと未来づくり事業」一覧（合併前上越市のみ）

資料No. 2

【事業の目的】

ふるさとの未来づくりに向けて、地域の現状を的確に捉え、解決したい課題のあるべき姿を描いていくため、地域で活動する団体等の活動や知見を学び合う機会を設けることで、互いの活動を知り、関係を築く契機とし、もって地域づくりに参画する人の輪を広げる。

<目的設定の背景>

○各地域には、住民団体やグループが組織され、様々な活動が行われている。
○地域の課題に地域で取り組む際、地域内外の団体やグループが協力し、得意な分野を補い合いながら取り組むことができれば、大きな力になる。
また、関わる人が多ければ多いほど、地域課題の解決に近づくことができる。



■当事業では、事業参加者が住民団体やグループと交流しながら、地域課題について学ぶ場を提供し、相互の間に仲間意識を育み、助け合える関係を築くこと、また、個人と団体等をつなぐことで、地域づくりに参画する人の輪を広げることを目標とする。

地区	講座名	学習テーマ	連携する団体・グループ等	日程	内容	会場	現状と課題	公民館が関わる意味	目標（目指す地域の姿）	募集人数	備考
高田	観光ボランティアガイドを目指そう	「元気の出るふるさと講座」の最終年の内容を引き継ぎ、高田区の観光や歴史を説明できるボランティアガイドを目指す。			観光ガイドから、ガイドをする際の基礎基本やポイントを学ぶ						R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
金谷	後谷・名水桜清水の会の活動に学ぶ	後谷地区を拠点として活発な活動を続けている「後谷・名水桜清水の会」の成り立ちと「ふるさと再生」に挑む一大プロジェクトについて学ぶ。	後谷・名水桜清水の会	①10月15日(金) 10:00~11:30	会が成立した経緯や目的についての講演。現地（後谷地区）へ赴き、活動の実態を見学して理解を深める。	金谷地区公民館 (座学)	金谷地区において団体の認知度が低い。今後、継続して続けていく必要がある。	同会は後谷と黒田・灰塚を結んでいた里道と里山の整備・保全活動を通して、次世代につながる環境保全やまちづくりの推進を図ることを目的に平成29年に設立された。そのため地元住民から積極的に学ぶきっかけづくりをする。	同会の活動を通して、地域の連帯感を深めると共に、環境の改善を進め、自然に親しみ、自然に対する正しい認識と理解を深め、里道・里山の歴史や自然との共生のあり方を学び次世代へつなげる環境保全やまちづくりの推進を図る。	10	
				②10月22日(金) 9:30~11:30		後谷・桜清水 (現地学習)					
新道	新道・防災士交流学習会	地区内の防災士が集まり、顔合わせを兼ねた学習会で親睦を深めることで「防災士会新道支部」の活動を促進し、地域の防災力向上を図る。	上越市防災士会新道支部	10月6日(水)	地区内の防災士同士が親睦を深めながら、避難所運営ゲームHUG（ハグ）を学ぶ。	新道地区公民館	地区内には市の養成講座を受講した防災士が点在しているが、「上越市防災士会 新道支部」は代表者が選出されているのみで、集まる機会もなく、お互いの顔や人数すら知らない状態である。	防災士会新道支部だけではどのように動きだせばよいか分からなかった所、公民館が支部の代表者に協力し一緒に企画・呼びかけを行うことで、まずは地区内の防災士が集まる機会をつくり、今後の支部としての活動のきっかけを作る。	地区内の防災士が個人ではなく「防災士会新道支部」の一員としての認識を持ち、組織としての活動が継続されることで、地域の防災力が高まる。	20	時間調整中
和田	和田地域の歴史を知り未来をつくる	地域の歴史を知り、さらなる和田地区の歴史を学ぶことで未来の地域課題提言を探る。	釜蓋遺跡保存会	①11月18日(木) 9:30~11:30	地域で活動する団体との交流を通じ、和田地域の歴史を深く学習する。	和田地区公民館	地区内では、歴史・文化を研究している団体がいるものの、地域住民が地域の歴史を深く学習する機会がほとんどない。	これまで公民館事業で和田地区の歴史・文化について学ぶ機会があったが、講義形式が多く、現場学習や学習した内容をまとめるものがなかったため、事業を通じて地域学習を深める機会としたい。	和田地区の歴史・文化を知ることで、他地域との関わりなど他地域との連携した学習につなげていきたい。	15	
				【事業訪問実施期間外】②12月2日(木) 9:30~11:30		和田地区内（現地学習）					
津有	津有地区を知ろう、参加しよう	地域づくり協議会作成「文化遺産めぐり」資料を基に津有の歴史を学び、地域資源の活用への理解や協力を促す。	・チーム保阪邸 ・でん地域研究所 ※(一社)雁木のまち再生(オブザーバーとして)	①10月	保阪邸の保存活動や、町家活用の取組を知り、地域資源を再発見する。また、戸野目雁木通りを中心に、空き家の問題などについて学ぶ。	(戸野目) 保阪邸、旧小柳邸	地区内の雁木通りでは、近年市民グループや団体による町家を活用したまちづくりの取組が盛んになってきているが、地域住民は知らない、関心がない、など、ほとんど関わりがない。また、所有者が不在・不明など雁木町家ならではの問題も起きており、豪雪では特に課題が浮き彫りとなった。	実は気になっていたという住民もいることから、公民館が間にたって、地域でどんな人たちがどんなことを行っているのか、住民にも知ってもらうことで、今度の取組に理解・協力する雰囲気を作り、地元住民の積極的な参画を促す。	地域外から来た人や、Uターンしてきた若者、元々住んでいた人の新たな取組を、地元住民が理解し温かく迎え入れ、協力する地域になることで、効果的で持続的な活動が維持され、地域が活性化する。また、雁木町家の空き家問題に地元が関心を持ち、地域として対策を考えることができる。	15	日時調整中
				②11月		(四ヶ所) 書斎「ごんざ」、民泊「でん」					
				③11月		戸野目雁木通り					
[合同] 高士 三郷 清里	歴史めぐり	高士、三郷、清里それぞれの地域において、同様の活動を行う3団体の連携・交流により地域の活性化を目指すとともに、参加者同士の交流を深める。	・高士地区歴史研究会 ・三郷地区の歴史・史跡を研究する会 ・星ふる清里会 (高士・三郷・清里区の住民)	①9月10日(金) 10:00~11:30	高士・三郷・清里地区で活動する歴史研究会協力のもと、身近な土地に刻まれた3地区の豊かな歴史を学ぶ。	高士地区公民館 (高士地区・座学)	高士・三郷・清里地区には歴史研究会が存在するが、これまで団体間の交流の場はなく、他地区の歴史について学ぶ機会はあまりなかった。	同様の活動を行っている地域の団体が相互に活動を紹介し合う場をつくることにより、団体間の連携を図る場を提供する。3地区の住民からも他地区の歴史について学んでいただくきっかけづくりをする。	高士、三郷、清里それぞれの地域において、同様の活動を行う3団体の連携・交流により地域の活性化を目指すとともに、参加者同士の交流を深める。	24	
				②9月26日(日) 9:30~11:30		高士地区内 (高士地区・現地学習)					
				③10月13日(水) 10:00~11:30		高士地区公民館 (三郷地区・座学)					
				④10月20日(水) 9:30~11:30		三郷地区内 (三郷地区・現地学習)					
				⑤11月11日(木) 10:00~11:30		高士地区公民館 (清里地区・座学)					
				⑥11月25日(木) 9:30~11:30		清里地区内 (清里地区・現地学習)					
春日	検討中	令和4年度実施に向け、今年度は公民館運営委員とともに公民館や地域で活動している団体等の活動を見学するなど、情報収集や課題等の検討を行う。 今後それらの知見をもとに、公民館運営委員会にて事業内容を決定する予定。	-	令和4年度実施予定	-	-	-	-	-	-	-

地区	講座名	学習テーマ	連携する団体・グループ等	日程	内容	会場	現状と課題	公民館が関わる意味	目標（目指す地域の姿）	募集人数	備考
諏訪	諏訪の里”魅力再発見”	諏訪区の地域課題（少子高齢化、過疎化、福祉・健康づくりへの対応）について、諏訪小学校の児童と交流しながら関心を深め、地域の良さや魅力に気付き、今後の諏訪区について考える。	・上越市社会福祉協議会 ・移住促進諏訪の会	【済】①6月29日(火) 14:00~15:30	植物マップを活用し飯田川堤防沿いの植物観察と意見交換を行う。	飯田川河畔	地域の課題である少子高齢化、過疎化、福祉、健康づくりへの対応等諏訪区の課題について諏訪小学校の児童と交流しながら関心を深め、地域の良さの魅力に気付いたり見直したりして諏訪区について考える必要がある。	諏訪の自然・歴史・文化について諏訪小学校の児童と交流しながら学ぶきっかけづくりを提供することができるため。	植物マップを活用し飯田川沿いを歩きながらの植物観察や、新しい生活様式の中での健康づくりについて学ぶこと、諏訪区の人口移住等を知り、未来の諏訪区について意見交換を行うことで地域の活性化を図る。	10	
				②10月7日(木) 14:00~15:30	新しい生活様式の中での健康づくりについて学び意見交換を行う。	諏訪小学校					
				【事業訪問実施期間外】③1月28日(金) 14:00~15:30	諏訪区の人口推移等を知り、未来の諏訪区について意見交換を行う。	諏訪小学校					
直江津	森の案内人 炭焼きを通して森を知ろう！	・自然の中を歩き、四季の移ろいや森の営みを感じながら現地学習を行うことで身近にある里山と深山の違いを考えるとともに、自然環境への意識向上を図る。また炭焼き体験を通して、人と自然のかかわりについて学ぶ。 ・他地域で活動する類似団体間の交流を図り、団体間の連携を図る契機とする。	・五智公園を育てる会 ・里山に親しむ会 ・不動産産森林組合	【済】①5月21日(金) 9:00~15:00	炭焼きの原木伐採、山野草の観察	名立区	五智公園の自然公園としての魅力があまり知られていない。 直江津地区において森林を散策し自然を楽しむ公園は五智公園のみであり、他地区の自然を知ることにより、五智公園の良さに気づききっかけが必要。	個人では普段行けないような場所や、できないような経験を、公民館での講座を通じて可能にする。	五智公園の魅力を再認識し自然環境への意識向上をめざすとともに、他地域で活動する類似団体間の交流、連携を図る。	15	
				【済】②6月18日(金) 9:00~15:00	ブナ林探検 五智公園探検	名立区 五智公園					
				③10月12日(火) 9:00~12:00	炭焼き ブナ林探検	名立区					
				④11月5日(金) 9:00~13:00	五智公園探検	五智公園					
				【事業訪問実施期間外】⑤12月24日(金) 9:00~12:00	ブナ林探検	名立区					
八千浦	地域防災力アップ	日頃から防災意識を持つため、防災について学び、地域防災力を高める。	八千浦防災士会	①11月12日(金) 9:30~11:30	ハザードマップを読み解こう	八千浦地区公民館	八千浦地区は地域の特殊性もあり、自然災害の危険箇所が多い。地域の危険箇所を知り、災害への認識・対応をよりいっそう深めていく必要がある。	公民館事業を通じて、八千浦地域内での地域住民の交流を深めながら、防災意識を高めていくことができる。	地域の現状を知り課題を共有しあうことで、個人だけでなく地域が協力し合って防災意識の向上につなげていく。	12	
				②11月26日(金) 9:30~11:30	災害時のスマホの使い方						
				【事業訪問実施期間外】③12月10日(金) 9:30~11:30	コロナ禍の避難所生活						
北諏訪	みんなで踊ろう！ よさこい踊り	地域全体の交流を通して、小学生と地域住民が一つにまとまる機会を作る。	北諏訪小学校児童	【済】①7月31日(土) 19:00~20:00	小学生が講師役になって、地域住民によさこい踊りを教え、一緒に踊り交流を深める。	北諏訪小学校	北諏訪地区の住民は世代を問わず主に小学校でよさこいを踊った経験があるが、卒業後に踊ることはほとんどない。地元住民からは再び踊ってみたいとの声もあるが、実現のため動きは消極的である。	公民館が幅広い世代に向かって呼びかけを行い、よさこいを通じて地域の人々をつなぐ機会を提供することができる。	よさこいを通じて地域の一体感を高め、地元住民同士の関係性の拡大を図る。また、住民の地元地域に対する消極的なイメージを払拭し、地域活動への積極的な参加に繋げていく。	30	
				【済】②8月7日(土) 19:00~20:00							
				【済】③8月21日(土) 10:00~11:00							
保倉	検討中	令和4年度実施に向け、今年度は公民館や地域で活動している団体、まちづくり振興会などから地域の実情や課題等について情報収集を行い、事業内容を検討する。	-	令和4年度実施予定	-	-	-	-	-	-	-
有田	(仮)みんな集まれカルチャーセンタープロジェクト	有田地区公民館（カルチャーセンター）を、地域の幅広い年代層の人が楽しく集えるコミュニティー空間にするため、みんなで考え、実行する。	・有田福祉の会 ・公民館利用団体 ・元気の出るふるさと講座参加者 (読み聞かせグループ「お話母さん」等)	①調整中	読み聞かせの会 (※図書室に子どもがいる時に、参加できる地域の大人が読み聞かせを行う不定期かつゲリラ的なミニイベント)	図書室・サークルサロン	有田地区は転入者が多く若者や子どもの数は多いが、地域としての一体感や地元への愛着、関心が希薄である。また、地域の団体では有田地区公民館（カルチャーセンター）を地域の核として活用しようという機運が高まっているものの、利用者の多くはあくまで貸館施設として個々で利用している。	有田地区公民館は周辺の緑地も併せて恵まれた環境にあり、地区内外からの利用者が多い。公民館はその利用者や地域の声を拾いやすく、どんな団体が地域にあるか、どんな活動をしているかを把握できるため、個人や団体の小さな「やってみよう」を実現させるため、「人と人」、「人と団体」、「団体と団体」をつなげるコーディネーターとなることができる。	地域住民や施設利用者が、有田地区公民館（カルチャーセンター）をただの貸館施設ではなく、地域の核として認識し、様々な人や情報が集まる場所となる。人の輪、学びの輪が広がることで、住民の想いが実際の取組として具現化しやすくなり、地域活性化につながる。	30	日時・内容調整中
				②調整中 (コロナの状況によつてはR4以降)	ミニコンサート (※すこやかサロン等が不定期で実施している屋外でのランチ会と、公民館の利用者がコラボし、屋外での演奏を気軽に楽しむ)	雅子妃の森					
谷浜・桑取	公民館の参観日	文化活動に取り組んでいる人の発表の場づくりを通して、参加者同士の繋がりを深めるとともに、この輪を広げて地域の活性化を図る。	・谷浜小学校児童 ・潮陵中学校生徒 ・桑取地区老人会	10月30日(土) 9:00~16:00	公民館利用者の作品展	谷浜・桑取地区公民館	小中学校の文化祭や公民館での作品展といった、文化活動で単発のものとなっており、地域住民が交流する場が少なくなっている。	小学生から高齢の方まで文化的な活動を通じて交流できるように結びつける役割を担っていくことができる。	谷浜・桑取地域の文化活動における交流を深め、他地域他団体との交流に結びつけることができるようにする。	100	

事業訪問の流れ

資料No.3

令和3年度事業訪問対象事業：

「ふるさと未来づくり事業」（合併前上越市の15地区公民館事業）

※詳細は資料No.2のとおり

【社会教育課】事業訪問の実施に関する依頼。

【委員】事業の実施日等を確認し、事業訪問を行う事業を決定。

事業実施日の1週間前までに、訪問事業を社会教育係へ連絡する。（電話・Fax・メール）

【社会教育課】訪問委員へ事業の詳細（集合場所・持ち物等）を連絡する。

訪問委員の人数調整が必要な場合は、各委員へ連絡・確認のうえ訪問事業の調整を行う。

事業訪問に係る費用弁償（22円/1km）の請求書を委員へ事前に送付する。

※費用弁償は委員の自宅から事業開催会場までの距離に応じて支給。

【委員】事業訪問を実施。事前に送付される費用弁償の請求書を、会場で社会教育課職員に提出。

※事業訪問の際は、社会教育委員の名札を着用のうえ会場で受付を済ませ、講座の運営に支障のないように見学する。

【委員】事業訪問報告シート資料No.4を、事業訪問後概ね1週間を目安に社会教育課へ提出する。（提出方法は下記参照）

【社会教育課】事業訪問に係る費用弁償を口座振込で支払う。

事業訪問の意見等を集約し、社会教育委員へお返しする。

【委員】集約した事業訪問結果をもとに、委員で事業に対する意見・提案などを協議し、まとめる。

取りまとめた事業への意見・提案等を社会教育係へ報告する。

【社会教育課】社会教育委員から報告のあった意見・提案を検討し、次年度以降の事業への反映を図る。

【事業訪問報告シートの提出方法】

郵送、FAX、メール、持参により下記担当まで提出をお願いします。

担当：上越市教育委員会 社会教育課 社会教育係 北川・古川

〒942-8563 上越市下門前1770 教育プラザ内

電話：025-545-9245 FAX：025-545-9272

メール：shakaikyoiiku@city.joetsu.lg.jp

（報告シートはデータで提供できます。上記のメールにご連絡ください。）

令和3年度 社会教育委員による事業訪問 意見等記録シート

事業名	ふるさと未来づくり事業	地区公民館名	
開催日		委員名	

■ふるさと未来づくり事業の目的

ふるさとの未来づくりに向けて、地域の現状を的確に捉え、解決したい課題のあるべき姿を描いていくため、地域で活動する団体等の活動や知見を学び合う機会を設けることで、互いの活動を知り、関係を築く契機とし、もって地域づくりに参画する人の輪を広げる。

No.	項目	評価 (※)	意見・提案
1	目的（上記参照）に対して、講座内容は適切であるか	
2	講座全体の雰囲気	
3	参加者の様子、取り組む姿勢（受講中の表情など）	
4	全体を通しての感想及び意見（自由記述欄）		
		

※ 評価 (◎：とてもよい ○：おおむねよい △：改善する点がある ×：改善すべき)

- お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。（FAX、郵送、持参、その場で係に提出のいずれかの方法でお願いします。）
- コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

令和3年度 社会教育の方針（社会教育課）

【令和3年度の重点事業】

【現状と課題】

（社会教育事業の充実）

- 少子高齢化、地域社会の連帯意識の希薄化などにより、家庭や地域における教育力が低下しているほか、多様化する人権問題など、課題や地域学習に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
- 生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、個人の要望に応える学習だけでなく、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等の社会の要請に基づく学習への取組が必要である。
- これまでの集い・交流を目的とした公民館などの事業については、新しい生活様式を踏まえた取組を検討する必要がある。

（青少年の育成支援活動の充実）

- 22の地域青少年育成会議では、各地域の特色に応じた活動を行っているが、学校との関係や事業のあり方に課題を持つ地域もあることから、各地域の状況に応じた支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・後継者不足が生じている。
- 義務教育終了後、高等学校に進学した生徒の中には不登校や中途退学で孤立し、ひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会から孤立しないように寄り添い、自立に向けての活動を推進する必要がある。

（学習機会や活動場所の提供及び施設の適正配置）

- 地区公民館(28)、公民館分館(17)、生涯学習センター等(13)の施設及び専門的な機能を有する白山会館、星のふるさと館、科学館、野外活動施設、図書館は、総じて施設や設備の老朽化が進行しているため、今後、多額の修繕費の発生が懸念される。
- 施設の中には、耐用年限の経過や老朽化が進む現状から、長寿命化対策が困難な状況の施設がある。
- 施設の規模が大きいなどの理由から、譲渡が難しい施設は、地域に根ざした活動の場がなくならないように配慮し、施設管理運営の在り方を見直す必要がある。
- 学習機会を提供する場として、各施設の役割を明確にしたうえで、適正な維持管理に努めていく必要がある。

【目指すべき姿】

学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。

【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】 社会教育事業の充実

- 地域と家庭が連携した教育力の向上を図ることで、健やかな子どもの育成につなげる。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合う機会と場を提供するとともに、学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の団体及び各種教育関係機関等と連携・協働を図る。

【取組方向②】 青少年の育成支援活動の充実

- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、公民館との連携等の仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知し、地域全体で子どもの成長を支える意識の創生と後継者の確保に努める。
- 義務教育終了後も切れ目のない若者への教育的支援の取組を進め、若者の居場所（Fit）を中核とする若者及び保護者への支援を充実させる。

【取組方向③】 学習機会や活動場所の提供及び施設の適正配置

- 公民館をはじめとした社会教育施設について、各施設の現状や利用実態を把握し、その「役割」と「機能」を明確にしたうえで、学習機会や活動する場を提供する。
- 各施設は、公の施設の適正配置計画の取組方向に従って、適正な管理に努めるほか、必要に応じて関係者との協議を丁寧に進めながら適正配置に取り組む。

社会教育事業・公民館事業

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上、人権啓発の推進
 - ・全ての地区公民館において家庭教育支援講座の実施
 - ・全市を対象とした家庭教育講演会の開催
 - ・人権意識を高めるための学習機会の提供
- 「地域課題解決学習」の推進
 - ・地域の団体等が連携するきっかけを提供し、地域づくりに参画する人の輪を広げることを目的とする「ふるさと未来づくり事業（仮称）」を各地区公民館で実施する。
- コロナ禍における社会教育事業の検討
 - ・学びを通じた人づくり、地域づくりの取組を推進するため、新たな手法となるオンライン化に向けた検証や職員の資質向上に取り組む。

【第6次総合計画】

1-1-1 人権に関する意識啓発の推進、6-2-1 学びを通じた人づくり、地域づくりの推進-2 公民館活動を通じた人づくり

青少年の育成支援活動

【事業内容】

- 地域学校協働活動の推進
 - ・地域青少年育成会議への訪問を通じた各地域の状況把握と課題に応じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページ等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
- 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所(Fit)の周知と活用の促進
 - ・親の会や研修会の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進

【第6次総合計画】

6-1-2 学校教育環境の整備-3 地域ぐるみの教育の推進

施設管理・整備

【事業内容】

- 身近な学びの場の適正管理と適正配置の取組推進
 - ・感染症対策を講じながら、利用者が安全に安心して利用できるように、施設の適切な管理運営を図る。
 - ・建物と機能を分離した考えの下、各施設の役割を明確にし、現状維持又は適正配置の取組を進める。
 - ・耐震基準を満たしていない地区公民館3棟の整備に向けた関係者説明を整える。（令和3年度末まで）
 - ・建物及び設備の大規模改修や箇所付け修繕、緊急修繕の実績を整理し、次期財政計画に漏れなく反映させるための準備を進める。

【第2次総合教育プラン】

5-1 人づくり、地域づくり充実のための支援

令和3年度 社会教育委員に関する会議等日程一覧

○現段階での予定になります。新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、会議・行事の日程・内容が変更または中止となる場合がありますのでご承知おきください。

○社会教育委員の皆様へは、その都度ご案内させていただきます。

期 日	会 議 等 名	会 場 等
【済】 6月17日(木)	新潟県社会教育委員連絡協議会 社会教育委員等研修会	新潟市黒崎市民会館 オンライン形式で開催
【済】 6月25日(金)	上越地区社会教育委員連絡協議会総会 (兼)県社会教育研究大会妙高大会第1 回実行委員会 研修会	上越地域振興局 総会・県社研妙高大会実行委員会のみ書面審議 ※研修会は中止
【済】 6月30日(水)	社会同和教育市町村巡回研修会	上越市立名立地区公民館
8月25日(水)	第2回社会教育委員・公民館運営審議会 委員会議	オンライン形式・上越市教育プラザ
10月12日(火)	県社会教育研究大会妙高大会 第2回実行委員会(前日準備)	新井文化ホール 新井ふれあい会館
10月13日(水)	県社会教育研究大会妙高大会	新井文化ホール 新井ふれあい会館 参集型とオンライン型のハイブリット形式により開催 (上越地区3市のみ妙高市へ参集)
11月13日(土)・ 14日(金)	全国人権・同和教育研究大会	上越市・妙高市 書面開催
2月中旬予定	第3回社会教育委員・公民館運営審議会 委員会議	上越市教育プラザ

<関連事業等>

- ・10月27日(水)～29日(金) 第63回全国社会教育研究大会石川大会(石川県小松市)
- ・11月11日(木) 第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会(東京都府中市)